

「耳の聞こえ」気になりませんか？

「聞こえづらさ」が進むと、身近な人と会話がしにくくなったり、友人らとの集まりに参加しにくくなることもあり、このような状態が長く続くと、認知機能が低下する可能性があります。

あなたの「耳の聞こえ」をチェックしてみましょう！

チェック内容	当てはまる場合は○
会話をしているとき、聞き返すことがよくある	
相手の言った内容を聞き取れなかったとき、推測で言葉を判断することがある	
電子レンジの「チン」という音や、ドアのチャイムの音が聞こえにくいと感じる	
家族に「テレビやラジオの音量が大きい」とよく言われる	
大勢の人がいる場所やまわりがうるさい中での会話は、聞きたい人の声が聞きづらいと感じる	



**1つでも○がついたら、
耳鼻科医師への相談をお勧めします。**

(出典)
厚生労働省令和6年度老人保健健康増進等事業(PwCコンサルティング合同会社)
「難聴高齢者の早期発見・早期対応等に向けた手引きの活用に関する調査研究」
「難聴高齢者の早期発見・早期介入等に向けた関係者の連携に関する手引き【第2版】」改編

『高齢者補聴器購入費助成』をご活用ください

市では、下記の項目に当てはまるかたに補聴器購入費の一部を助成しています。お気軽にご相談ください。(なお、本事業は令和7年度実施事業であり、予算上限に達し次第受付終了します。)

- (1) 市内に住む65歳以上の人
- (2) 市民税非課税世帯又は生活保護世帯の人
- (3) 4分法で両耳の聴力レベルがそれぞれ40デシベル以上かつ身体障害者手帳(聴覚障害)の取得要件に該当しない人
- (4) 公益社団法人テクノエイド協会が認定する補聴器技能者が在籍する補聴器の販売店で購入し、購入後も使用し続けるため、調整・点検を受けることができる人
- (5) 交付決定時及び補聴器使用一定期間経過後にアンケートに回答できる人
- (6) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく補聴器の交付を受けることができない人
- (7) これまでに補聴器購入費用の助成を受けていない人